

海外派遣留学生
留学報告書

留学全体を振り返り、勉学・生活の両面について具体的にご記入ください。

[1] 参加した語学コースの時間数／科目名(受講科目・複数可)

- ・授業時間数:
- ・科目名: Textual、Oral、Accuracy

時間	月	火	水	木	金	土	日
8:45~10:15	○	○	○	○	○	Free	Free
10:30~12:00	○	○	○	○	○	Free	Free
13:15~14:45	○	○	○	○	Free	Free	Free

[2] 授業内容について教えてください。

(クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等)

クラスの人気は 15 人程度、国籍は4~5割が中国人、その他はアフガニスタンやウクライナ、韓国、サウジアラビア、ペルーなどさまざまでした。

担当の先生はアメリカ人の場合、アメリカ以外での生活経験があり、そのほかは他の国のルーツを持った方ばかりでした。そのため、第 2 言語を習得するコツやむずかしさを十分に理解してくれていたと感じます。

授業方法はクラスや先生によりさまざまですが、共通しているのはグループワークやペアワークが多かったこと、どのクラスでも積極的な発言が求められることです。

週に 1 回はどのクラスにもクイズがあり、1 学期に 2 回大きなテストがあります。

使用する教材は、購入する教科書が主流ですが、追加の教材としてプリント等が配布されることもありました。

[3] 課外活動・研修旅行・余暇の過ごし方について教えてください。

課外活動に関しては、シラキューズ大学のクラブアクティビティにはだれでも参加することが出来ます。スポーツを行うクラブ等もあれば、国や文化圏ごとのコミュニティもあります。

また、オレンジアフターダークという取り組みにおいては、3 ドルほどで公開前の映画を見に行くことが出来たり、ウォーターパークで遊ぶことが出来ます。

ジムが無料で使えるため、バスケやバトミントンなどを放課後にすることができます、ボルダリングも無料で体験できます。

研修旅行等はありませんが、留学生を対象としてナイアガラの滝等のツアーも行われていました。

余暇については、現地の大学生は大体実家に帰るので大学周辺は静かだったと思います。留学生は寮をでなければならぬ人もいますが、行く先がないため一緒にエアビを借りて滞在するなどしていました。

留学報告書

[4] 派遣先でよく使った施設について教えてください。(図書館、学生会館、スポーツ施設等) 図書館、ジム、チュードメントセンター、キャリアドーム、ダイニングホール

[5] 宿舎(寮やホームステイ)での生活について教えてください。

部屋: 1部屋1人で使用

様子: 1Fに4人、2Fに5人住んでいました。ルームメイトは東海大学からの留学生以外、全員男性で、2階の住人全員でバスルーム、リビング、キッチンを共有していました。ルームメイトはみんなとてもやさしく、一緒にゲームをしたり、スポーツを観たり映画を観ることもありました。自分の友人を家に招くこともありました。

[6] 留学中に楽しかったこと、苦労したことを教えてください。

● 楽しかったこと:

アメリカの空港に着いた時には、昼食もまともに注文することが出来なかった自分が、日に日に英会話に慣れていく状況が楽しかったです。また、授業においては知っていることやすでに高校等で学んだことをもう一度英語で学びなおすことができ、新鮮でした。ELI以外での日本人とのつながりができたことも嬉しかったです。

ELIの先生やサポートしてくれる方々は、何から何まで相談に乗ってくれました。はじめは相談しに行くのも少し勇気がいりましたが、毎休み時間会いに行きその日のできごとを話したり、どこにいきたいか、何をしたいかを話すのがすごく楽しくなっていました。宿題やグループでのプレゼンテーションの準備などをクラスメイトと一緒に図書館でやることもありました。日本人がほとんどいない環境だったので、授業以外においても必然的に英語を使っていて、自分のためになったと感じています。

● 苦労したこと:

自分は4年生での留学だったため、就活、そして卒業論文が終わっていない状態での渡航でした。そのため、時差の問題から夜中にゼミの授業を受けたり、企業との面接をしていました。そのような点では少し大変だったように思います。しかし、私にとってはそれも含めとても良い経験でした。

[7] 留学の成果について教えてください

1) 語学力の向上:

リスニング、スピーキングについては確実に向上していると思いたいが、何よりも変わったのはメンタル面だと考えています。今までは英単語や文法をしっけていても、使うこと、そして間違えることに抵抗がありましたが、今では伝わらなければ伝えられるまで言えれば、発音がわかっても伝えなければスペルを伝えれば、などメンタル面での成長は大きかったです。

2) 専門知識の向上:

今まで勉強した英語では、大学受験で使える英単語を多く学習していたため、その点の知識はあまり向上していないように思いますが、気軽に使える英語、話すときと書く時で異なっ

海外派遣留学生
留学報告書

る文法など、より実用的な知識は身に着いたように思います。

3) 自己成長など

メンタル面での成長とともに、自分自身が今までしてきたこと、そして自分の今目指している道は間違っていないと実感することが出来ました。もちろん日本でも学べることだったのかもしれませんが、多文化の中で生活することで、さまざまな意見や価値観を自分の中に取り入れることが出来たと思います。

[8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！

シラキュース大学はとにかく優しい人たちであふれています。中国人の学生数が多いこともありアジアンヘイトもそこまで見られないと思います。

サポートしてくれるスタッフや先生方からの情報をしっかりと聞いて、積極的にイベント等に参加するとよりアメリカの大学生活を体験することができると思います。困ったことがあればどんなに小さなことでも相談してください、相談自体も英語の練習になると思います。

留学しているからいっさい日本語を使わないなどと無理をせず、日本人同士のコミュニケーションも大切にしてください。

[9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

項目※詳しく記入して下さい	金額(当時の日本円)
渡航費(旅行会社に支払った経費)	220,000
授業料以外の諸経費(教材費・課外活動・保険料等)	300,000
私生活における諸経費(食費・交通費・洗濯費等)	1200,000
現地からの奨学金がある場合	0
お土産代や個人的な買い物	100,000
その他()	200,000
留学に関する費用の総額	2,020,000

海外派遣留学生
留学報告書

